

〔後記〕

愛知大学国文学第六十四号をお届けします。本号は、古典文学一篇、近現代文学一篇、日本語学一篇の構成になっています。本学兼任講師の、日比野浩信先生、渡邊章夫先生に寄稿をいただきました。お読みになられた皆様からのご批評をいただければ幸いです。

また、令和六年度愛知大学国文学会が十月二十九日に開催されました。卒業論文中間発表として各ゼミの代表者の発表、ゼミ生全員の卒論計画の発表がなされ、有意義な場となりました。

本号から「学生の卒論から」というコーナーを掲載しました。これまで、卒論のタイトルは掲載していましたが、学生や読者の方にその内容を少しでもお知らせできればとの思いから、新コーナーを作りました。

本年で、日本語日本文学科も無事、完成年度になります。来秋には、新校舎も完成予定です。新学科にお力を頂いた、平高史也先生の御退官の寂しい年でもあります。

(令和六年一月一五日 漆谷広樹)

愛知大學國文學 第64號

(非売品)

令和七年一月二十日

発行 愛知大學國文學會

代表者 和田 明 美

〒441-8522 豊橋市町畑町一丁目

電話(〇五三)四七二四一(代)

印刷 株式会社コームラ

〒501-2517 岐阜市三輪ふりんどびあ3

電話(〇五八)二二九一五八五八